

だれ あんしん く  
誰もが安心して暮らすことができる



きょうせいしゃかい めざ  
共生社会を目指して



あおもりけんしょうがいしゃ いしそつうしゅだん  
青森県障害者の意思疎通手段  
りょうそくしんかんじょうれい  
の利用の促進に関する条例

こうふ しこうび れいわ ねん がつ にち  
公布・施行日：令和2年3月27日

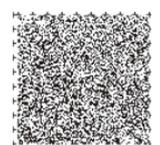
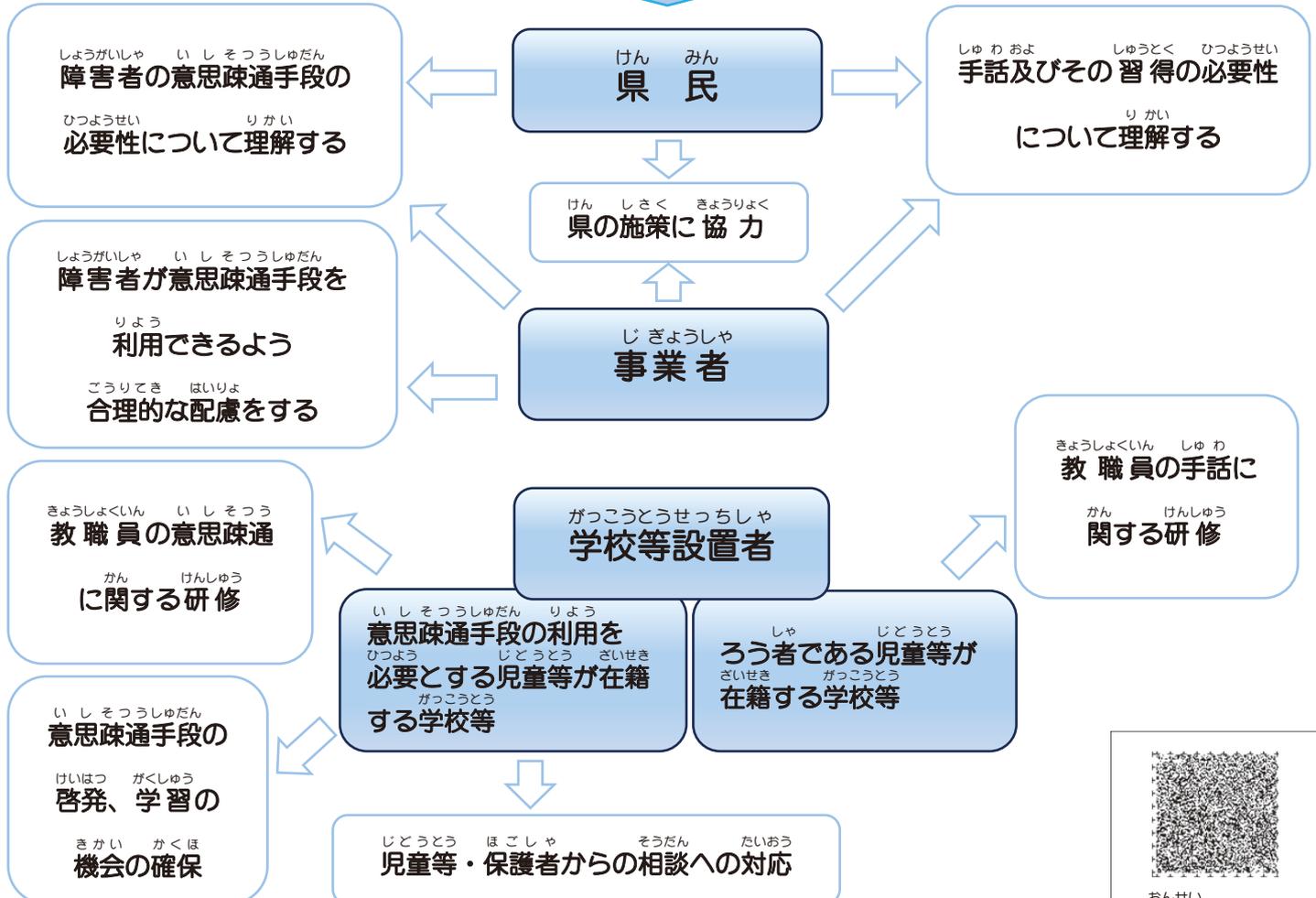
しょうがいしゃ たよう いしそつうしゅだん  
障害者にとっての多様な意思疎通手段につ  
いての県民の理解の促進や、障害者が意思  
そつうしゅだん りょう かんきょう せいび と  
疎通手段を利用しやすい環境の整備に取り  
組みます。

あおもりけんしゅわげんごじょうれい  
青森県手話言語条例

こうふ しこうび れいわ ねん がつ にち  
公布・施行日：令和2年7月6日

しゅわ げんご けんみんどう りかい  
手話が言語であることの県民等の理解の  
そくしん しゅわ しょう かんきょう  
促進や、手話を使用しやすい環境の  
せいび と く  
整備に取り組みます。

とく  
取り組むこと



おんせい  
【音声コード】

# しょうがい とくせい おう い し そつうしゅだん 障害の特性に応じた意思疎通手段

しょうがい しゅべつ ていと  
障害の種別や程度によって、意思疎通手段は人それぞれ違います。相手に合った意思疎通手段を  
かくにん い し そつう はか  
確認し、意思疎通を図りましょう。

## しかくしょうがい 視覚障害

### おんせいげんご 音声言語



## てんじ 点字

へいめん も あ  
平面から盛り上がった  
6つの点により文字を  
ひょうげん  
表現する



## おんやく 音訳

しよせき しかくしよほう  
書籍などの視覚情報を  
おんせい ろくおん  
音声で録音する



## かくだい も じ 拡大文字

ぶんしよ も じ おお  
文書などの文字が大  
きく書かれたもの



## ちようかくしょうがい 聴覚障害

### しゅわ 手話



## ゆび も じ 指文字

て かたち しよきげんご も じ  
手の形を書記言語の文字  
たいおう しかくげんご  
に対応させた視覚言語

## ようやくひつき 要約筆記

はつげんしゃ はなし ば  
発言者の話を、その場  
ようやく か あらわ  
で要約して書き表す



## くうしよ 空書

ひとさ ゆび くうちゆう も じ  
人差し指で空中に文字を  
かく  
書く

## ひつだん 筆談

そうご も じ か  
相互に文字で書いて  
い し つた あ  
て意思を伝え合う



## ほちようき かつよう 補聴器の活用

ざんぞんちようりよく い ほちようき  
残存聴力を活かし、補聴器  
じんこうないじ き  
や人工内耳により聞こえを  
おきな  
補う

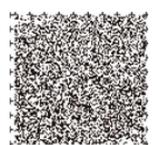


## こうわ 口話

くちびるの動きによつ  
ひょうげん つた かた  
て表現する伝え方

## もう 盲ろう

### ほちようき かつよう 補聴器の活用



おんせい  
【音声コード】

## しよくしゅわ 触手話



しゅわ かたち て  
手話の形を手で  
さわ よ と  
触って読み取る

## てが も じ 手書き文字



もう しや て  
盲ろう者の手のひ  
らに文字を書く

## ゆびてんじ 指点字



もう しや ゆび てんじ  
盲ろう者の指を点字タ  
イプライターのキーの  
か ちよくせつ  
代わりに直接たたく

しんけいなんびょう  
神経難病 (ALS等)

おんせい げんごきのうしょうがいとう  
音声・言語機能障害等

い し でんたつそうち  
意思伝達装置

コミュニケーションボード

じつぶつ え しゃしんなど ていじ  
実物・絵・写真等の提示

からだ  
わずかな身体の  
うご かんち  
動きを感知する  
スイッチなどに  
より操作し、文字  
や音声で意思を  
伝える機器



え ず  
絵や図などにより、  
日常生活に必要な事柄  
などが記載されている  
ボードを指で指しながら  
意思を確認する



みぶ てぶ  
身振り・手振り

ひつだん  
筆談

だいどく  
代読

おんせいげんご  
音声言語

ひょうじょう  
表情



い し そつう さい はいりよ ひつよう  
意思疎通の際に配慮が必要なこともあります

ちてきしょうがい  
知的障害

せいしんしょうがい  
精神障害

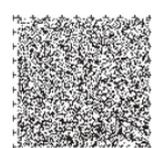
はったつしょうがい  
発達障害

こうじのうきのうしょうがい しつごしょうとう  
高次脳機能障害 (失語症等)

- 内容が理解できるよう分かりやすい言葉で話す。
- 複雑な内容を伝える時は文字や絵で説明。
- おだやかな口調で、安心感を与える対応を。
- 落ち着いた、ゆっくりとしたペースで聞く。
- 文章の漢字などにふりがなをつける。
- 「はい」「いいえ」で答えられる質問をする。
- あいまいな表現、抽象的表現は使わず、話は短く、要点や論点を具体的に示す。
- 感覚が過敏な方には静かな場所で話をする。

ほん きさい も じじょうほう おんせいが  
本パンフレットに記載している文字情報を音声化したものです。  
かつじぶんしよよみあげそうちなど おんせい き  
活字文書読上装置等で音声を聞くことができます。

きさい いちれい ほか しょうがい とくせい おう い し そつうしゅだん ひつよう はいりよ  
記載されているものは一例です。他にも障害の特性に応じた意思疎通手段や必要な配慮があります。  
それぞれの障害の特性については、「障害を理解し共に支えあう社会をめざして」-障害を知るため  
のガイドブック-をご覧ください。



おんせい  
【音声コード】

# しゅわ おんせいげんご こと げんご 手話は音声言語とは異なる言語です

しゅわ  
**手話**は、しゅし からだ うご ひょうじょうとう ひょうげん おんせいげんご こと とくじ  
手指や体の動き、表情等により表現される、音声言語とは異なる独自の

たいけい ゆう げんご にほんご こと ぶんぼうたいけい も  
体系を有する言語です。日本語とは異なる文法体系を持っています。

しや  
**ろう者**は、ちようかくしょうがいしや しゅわ しやう にちじょうせいかつまた しやがいせいかつ いとな もの  
聴覚障害者のうち手話を使用して日常生活又は社会生活を営む者です。

にちじょうせいかつ しやがいせいかつ しゅわ つか せいかつ しや ひつだん じまく  
日常生活や社会生活において、手話を使って生活しているろう者にとっては、筆談や字幕

しゅわ つか ほう わ ばあい  
よりも手話を使った方が分かりやすい場合があります。

## しゅわ おぼ 手話を覚えてみませんか



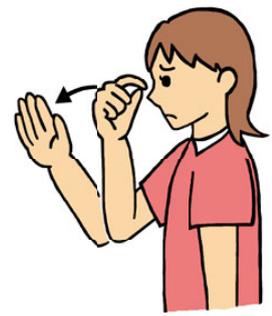
ありがとう

みぎて ひだりてこう かる あ  
右手を左手甲に軽く当て、  
おが  
拝むようにする。



おつかれさま

ひだりうで みぎ かる  
左腕を右こぶしで軽くた  
たく。



すみません

みぎて おやゆび ひとさしゆび みけん  
右手の親指と人差し指で眉間をつ  
みぎて おが  
まみ、右手で拝むようにする。

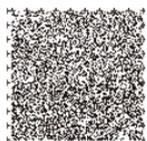


あおもり



あお みぎて て かる あ うし ひ  
「青」：右手の手のひらをほおに軽く当て、後ろに引く。

もり め まえ たか ゆびさき かる ひら りょうて こうがわ  
「森」：目の前の高さで指先を軽く開いた両手の甲側を  
まえ む こうご しょうげ さゆう ひら  
前に向けて交互に上下させながら左右に開く。



おんせい  
【音声コード】

はつ こう あおもりけん けんこうふくし ぶ しょうがいふくしか  
【発行】青森県 健康福祉部 障害福祉課

あおもりしながしま1ちようめ1ばん1ごう  
〒030-8570 青森市長島1丁目1番1号

でん わ  
【電話】017-734-9309 【ファックス】017-734-8092